なんでも IR

TIRRA-61

ユーザーズマニュアル

（取扱説明書）

Assistive Technology as Tools
テクノツール株式会社
Technotools Corporation

安全上のご注意

本機をご使用になる前に、この「ユーザーズマニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 また、お読みになったあとは、 いつでも見られる所に大切に保管してください。

本機は安全に十分配慮して制作されておりますが、すべての電気製品は誤った使い方をすると、火災や感電などの事故につながることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示について

このユーザーズマニュアルでは、次のような表示をしています。 お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

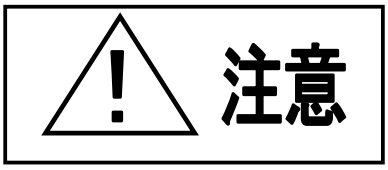
この表示の注意事項を無視して、誤った取り扱いをすると、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

・故障したら使わないこと

万一、異常が起き、動作がおかしくなったり、破損しているのに気が付いたら、すぐにお買い上げ店または弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。

・幼児やペットなどに誤って触らせない

本機はテレビ・オーディオ機器の操作に加えて、学習機能を利用することにより冷暖房器具やその他の電気器具の操作も可能なため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
幼児やペットが誤って触らないように、手の届かない場所に置くよう十分に注意してください。



・指定以外の電池は絶対に使用しない

本機は充電機能を備えています、付属のニッケル水素電池以外は使用しないでください。 電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

・電池の向きを正しく入れる

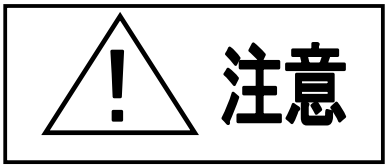
電池交換時は弊社指定の電池を使用し、電池コネクタの向きを表示通り正しく接続してください。 間違えますと、電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

・内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。 万一、水や異物が入ったときは、本機から電池を取り出しお買い上げ店または弊社サービス窓口にご相談ください。

・内部を開けない

感電の原因となることがあります。 修理や内部の点検はお買い上げ店または弊社サービス窓口にご依頼ください。



・不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちてけがの原因となることがあります。 また、置き場所の強度も十分に確認してください。

＜箱の中の確認＞

本製品には以下のものが入っています。ご使用になる前に確認してください。

・なんでも IR 本体 （TIRRA-A01）
・ユーザーズマニュアル （取扱説明書）
・USB ケーブル （1本）
・パック型ニッケル水素電池 （1個）
・なんでもIR導入用 CD-ROM ：
TIRRA-A01-F7(Windows Vista,7,8,8.1 用）

目　次

1. はじめに.....5
2. 主な特徴.....5
3. ご使用になる前に.....6
4. 各部の名称とはたらき.....7
5. 動作環境.....8
6. アプリケーション、ドライバのインストール.....9
7. なんでもIR(本機)を接続する.....16
8. 基本的な使い方.....17
9. 新しいリモコンを追加するには.....19
10. 各種設定.....24
11. マクロ機能 31
12. アプリ・ドライバの削除.....34
12. トラブルシューティング（うまく動作しない時）.38
13. 保証規定.....42
14. 使用許諾条件.....43
15. 連絡先.....45
本製品の仕様.....45

1. はじめに

・このたびは、なんでもIR （TIRRA-61）をお買い求めいただきまことにありがとうございます。 本製品は別添えの専用アプリケーションソフトをパソコンにインストールすることによって、複数のAV機器及びその他の家電器具をパソコン上のオンスクリーンリモコンで操作することができます。

・ご使用中の機器に付属のリモコンにない機能は本機では操作できません。

・直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに本機を放置すると、変形・変質の原因となることがあります。

・本機の汚れがひどい場合は、中性洗剤などでふきとってください。 シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。

2. 主な特徴

本製品は次のような特徴があります。

1 USB インターフェース

USB インターフェースを採用しプラグ &プレイでパソコンと接続できます。

2 複数のAV・家電器具を操作可能

複数のAV機器及びエアコン・照明器具などを一台のパソコンで集中コントロールできます。（操作可能台数はご使用になるパソコンの空きディスクエリアによります） また、リモコン信号は 16 個の赤外線発光LEDによって、ほぼ全方向に発光するので操作対象機器によって本機の向きを変える必要はありません。

3 豊富なプリセットデータ

専用のアプリケーションソフトには主なメーカーのテレビ・ビデオなどAV機器のリモコン信号をプリセットデータとして含んでいますので、利用したいリモコンの設定が簡単にできます。

4 お手持ちのリモコン信号を記憶できる学習機能

お手持ちの機器に付属しているリモコンの信号がプリセットデータになかった場合は、本機で「学習」して記憶させることができます。（ページ25） また、AV機器だけでなくエアコン・照明器具などの家電製品のリモコン信号を学習させることもできます（一部の機器をのぞく）。

5 充電機能内蔵

充電可能なニッケル水素電池の採用と内蔵充電機能で電池交換することなく長期間使用できます。 電池の寿命は使用頻度によってことなりますが、通常2年間ほどのご使用が可能です。
充電はパソコンの電源がオンの時、USBからの供給で行います。

3. ご使用になる前に

1 電池を入れる

本体底面の電池ボックス蓋を開け、付属のニッケル水素電池を入れます、この時電池ケーブル側コネクタの凸部と電池ボックス内コネクタの溝が合うように正しく接続してください。 また電池ボックス蓋を閉める前に電池ケーブルをボックス内にきちんと納めてください。
付属のニッケル水素電池以外は使用しないでください。 電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

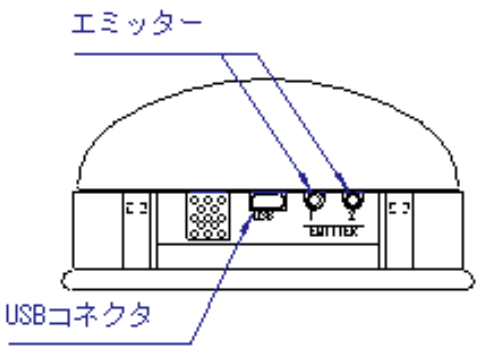
電池は初回、1時間～4時間で満充電になり充電状況表示LEDが赤より緑色に変わります。

2 アプリケーションとドライバのインストール

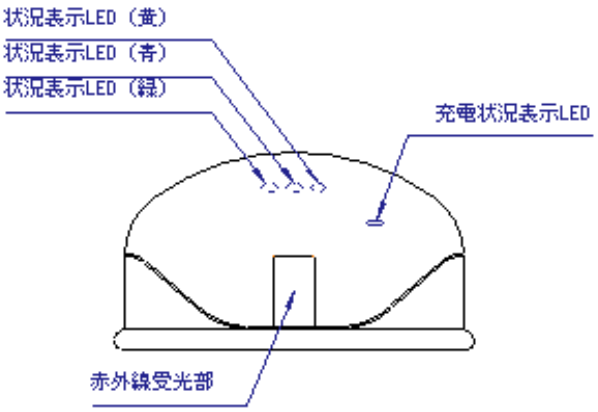
本誌ページ 9～18にしたがって「なんでもIRセンター」アプリケーションと専用ドライバをご使用になるパソコンへインストールしてください。

4. 各部の名称とはたらき

● 各部の機能と背面のコネクタを説明します。



背面



前面

1 USB コネクタ

パソコンと付属の USB ケーブルで接続します。（本機側 Mini-B パソコン側 USB-A タイプ）

2 エミッター（外部発光）

オプションのエミッター（外部発光機）を接続します。 なんでもIRセンター専用のアプリケーションソフトでリモコン信号の発光部を切り替えることができます。（ページ 30）

3 赤外線受光部

リモコンの信号を学習する時の赤外線受光部です。

4 状況表示 LED

下記のように本リモコンの作動状況を表します。

- 青色 LED: 電源オン時に点灯（USB より電源が供給されている状態）
- 緑色 LED: リモコン信号の発光時に点灯
- 黄色 LED: 赤外線信号の学習待ちの時に点灯

5 充電状況表示 LED

- 充電が完了すると緑色 LED が点灯します。
- 充電中は赤色 LED が点灯します。

5. 動作環境

本機の動作には以下の環境が必要です。

パソコン	Windows パソコン
対応 OS ※いずれも日本語	Microsoft Windows® Vista(32 ビット版) Microsoft Windows® 7(32・64 ビット版) Microsoft Windows® 8(32・64 ビット版) Microsoft Windows® 8.1(32・64 ビット版) ※Windows8,8.1 では、デスクトップアプリとして動作します。
CD-ROM ドライブ	ドライバおよびアプリケーションのインストールに CD-ROM ドライブ が必要です
推奨メモリ	512M バイト（WindowsVista・7・8・8.1）以上 ※必要な容量はお使いの基本ソフトウェアの推奨容量を搭載することをお勧めします
ハードディスク	100M バイト以上の空きエリア
USB	USB 規格 1.1 及び 2.0 に対応
その他	Microsoft Internet Explorer® Ver.8 以降

※ 本機をご利用の場合は、パソコンの電源設定で「スタンバイ状態」にならないように設定を行ってください。スタンバイやスリープからの復帰後は、本機の USB ケーブルをいったんパソコンから抜き、再接続させてご利用ください。

6. アプリケーション、ドライバのインストール

なんでもIR専用のアプリケーションソフト「なんでもIRセンター」のインストールと、なんでもIR(本機)をパソコンでご利用いただくための「USBドライバ」のインストール作業を行います。

付属の導入用CD-ROM TIRRA-A01-F7をご利用ください。

以下の手順に沿って作業を行ってください。

※ご注意

以下の作業が完了するまで、なんでもIR(本機)をパソコンに接続(USBケーブルでの接続)を行わないようにしてください。

◆なんでもIRセンター、USBドライバのインストール

1. CD-ROMのセット

本機をパソコンに接続する前に、付属の導入用CD-ROMをご使用になるパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。

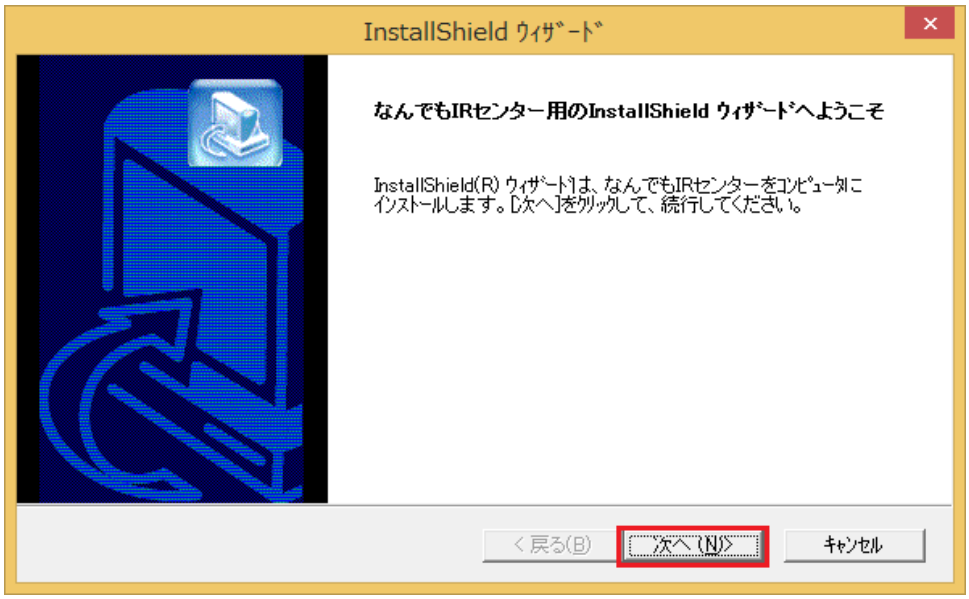
CD挿入後、「自動再生」画面が表示されます。「Setup.exeを実行する」をクリックしてください。

例) **Windows8**

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」を押してください。

2.「なんでもIR　センター」アプリケーションインストールの開始

次のような画面が表示されインストールが始まります。「次へ(N)」をクリックしてアプリケーションのインストールを進めます。

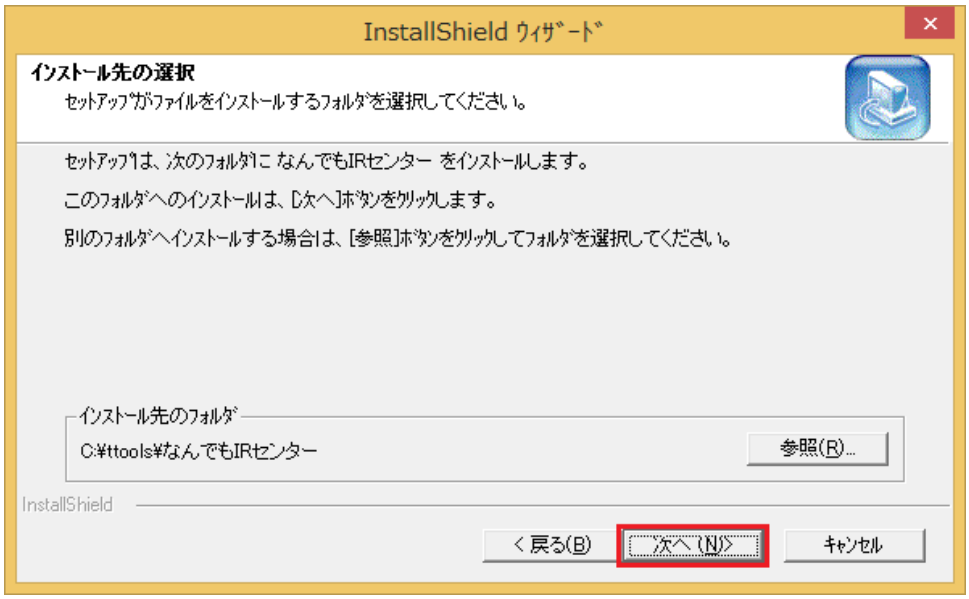


3. 使用許諾条件の確認

アプリケーションの使用許諾条件の確認画面です。内容を確認して、了解の上「はい(Y)」をクリックしてください。使用許諾条件に同意できない場合は、「いいえ(N)」をクリックしてインストールをただちに中止してください。

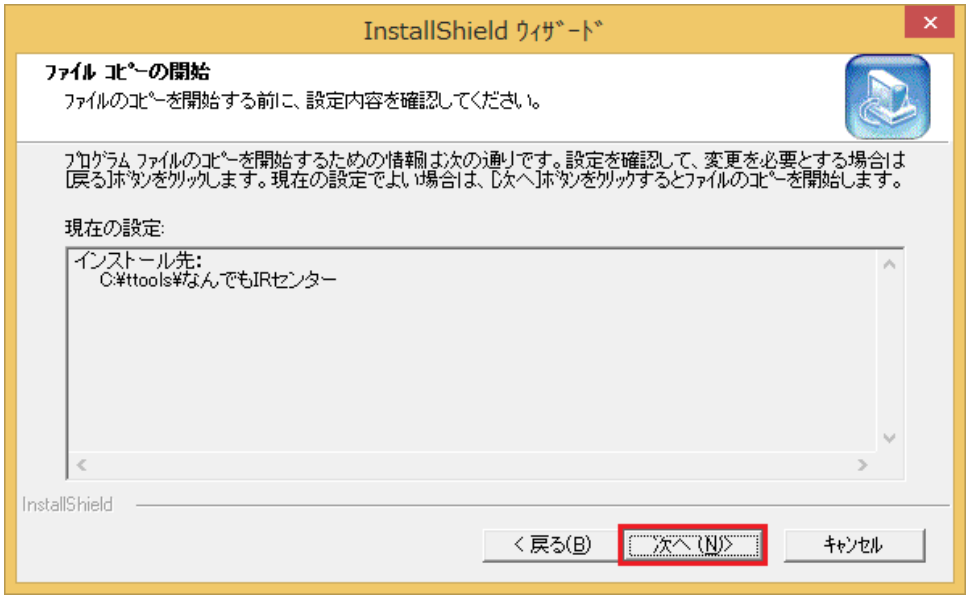
4. インストール先の選択

インストールするディレクトリを選択します。「次へ(N)」をクリックするとインストールが進みます。



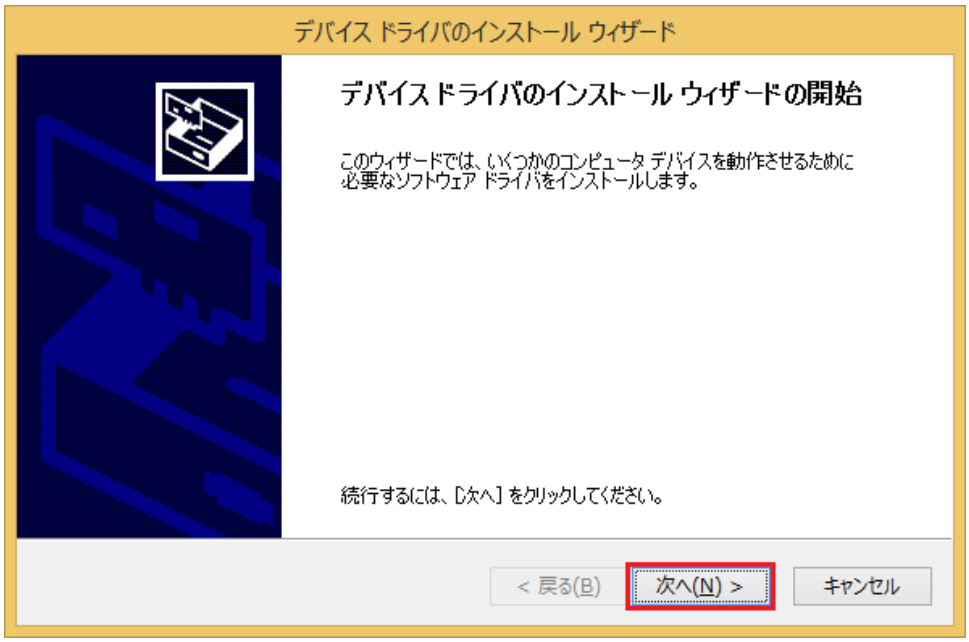
5. プログラムフォルダの選択

スタートメニューに登録するフォルダの名前です。「次へ(N)」をクリックすると、インストールが進みます。

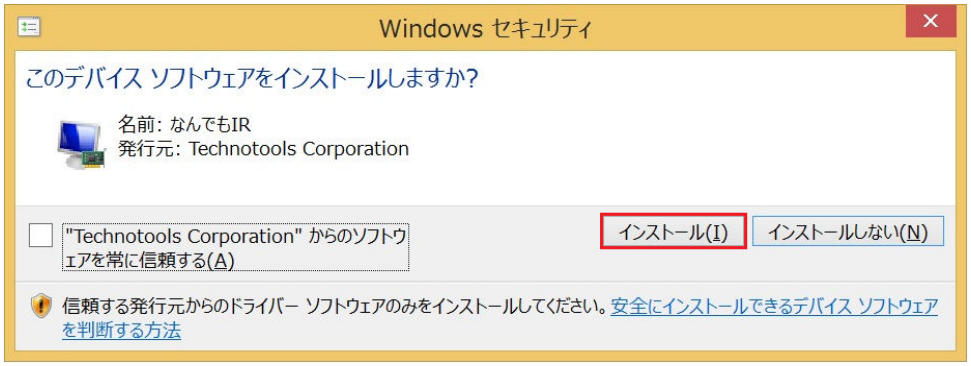


6. デバイスドライバのインストール

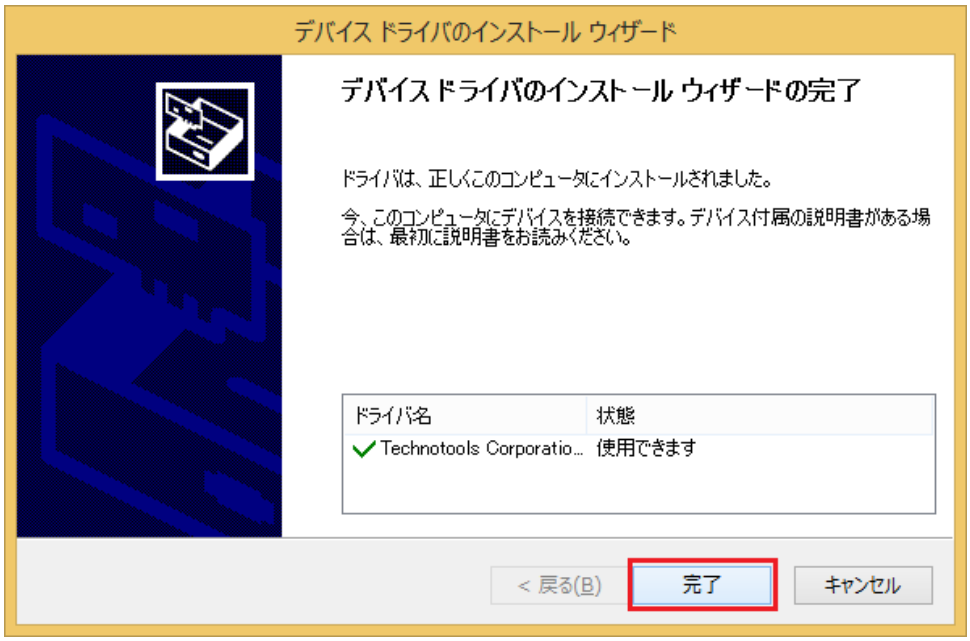
なんでも IR センターのインストールが進み、デバイスドライバのインストール画面に変わります。「次へ(N)」をクリックするとインストールが進みます。



以下の Windows セキュリティ画面「このデバイス ソフトウェアをインストールしますか？」が表示される場合は、「インストール」をクリックしてください。

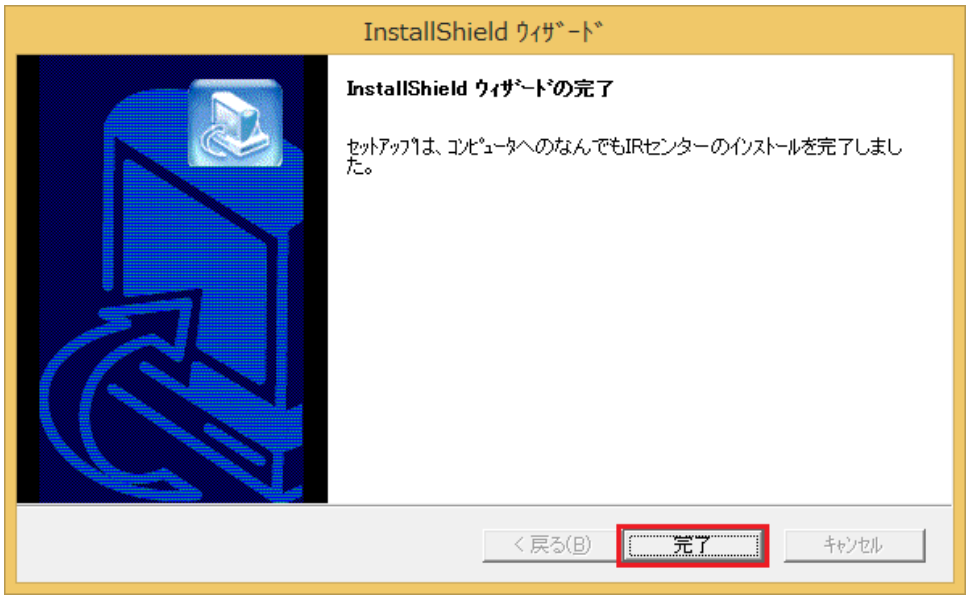


デバイスドライバのインストールウィザード完了画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。



7. アプリケーションのインストールの完了

インストールが進みこの画面が表示されたらインストールは完了です。



「完了」をクリックして「なんでもIR　センター」アプリケーションのインストールを終了します。

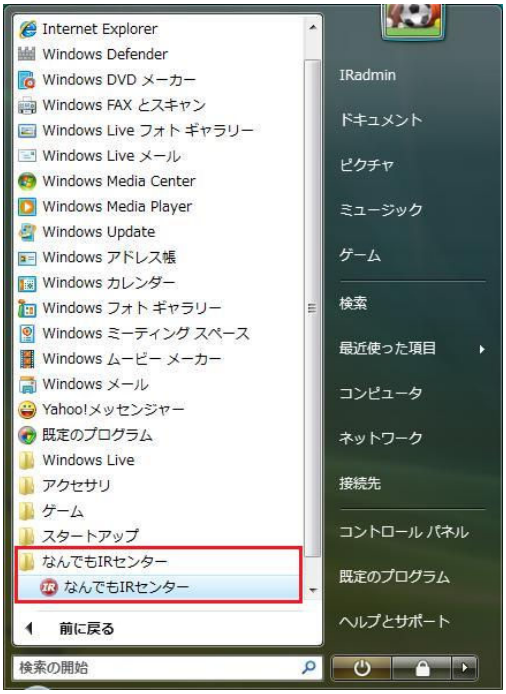
※完了後、Windows を再起動いただく事をお薦めいたします。

正しくインストールされると、アプリケーションがスタートメニューの「プログラム」もくは「すべてのプログラム」→「なんでも IR センター」 に登録されます。

Widows8 のスタート画面の場合

Windows8.1　アプリ画面の場合

WindowsVista、7 の場合



7. なんでもIR(本機)を接続する

本機をご利用になるには、付属の USB ケーブルを「なんでも IR(本機)」とパソコンに接続してください。
そのままお使いいただけるようになります。本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続させてください。自動的に本機を認識しご利用いただけるようになります。

1. なんでもIR(本機)に USB ケーブルを接続します。

（前項「6.アプリケーション、ドライバのインストール」作業が完了していることをご確認下さい。

2. パソコンと接続します。

本機を USB ケーブルでパソコンと接続します。接続すると、自動的に USB デバイスのインストールが始まり、ご利用いただけるようになります。

8. 基本的な使い方

1. 基本的な操作

リモコンリスト

本機を付属のUSBケーブルでご使用になるパソコンと接続し、IR Centerアプリケーションを起動すると**なんでもIRセンター**のリモコンリスト画面が表示されます。 登録された機器のリモコン名がすべてリモコンリストとして表示されます。 色々な操作はこのリモコンリスト画面より移行して行います。
ここではサンプルとして登録してあるテレビのリモコン操作を例に取って説明して行きます。 実際に操作したい機器については事前に新規リモコンの登録（新しいリモコンを追加するには ページ 23～27）が必要です。

リモコン信号の発光

リモコンリスト画面よりテレビをクリックし、テレビのリモコン画面へ進みます。操作したい内容のボタンをマウスオバー（マウスポインターを合わせる）してクリックするとリモコン信号が発光されます。 発光はマウスボタンを押している間続きますので音量アップ･ダウンなどに有効です。

メニューバー・その他のシンボル・ボタン

リモコンリスト画面へ戻ります。

マクロの設定画面へ移行します。

リモコンの各種設定画面へ移行します。

ヘルプが御覧になれます。

9. 新しいリモコンを追加するには

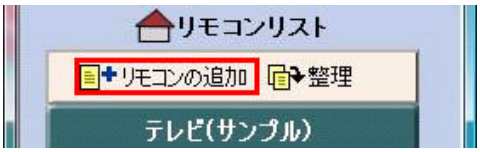
◆新規リモコンの登録（プリセットデータ、信号の学習、インポート）

操作したい機器のデータを本機に新規登録します。

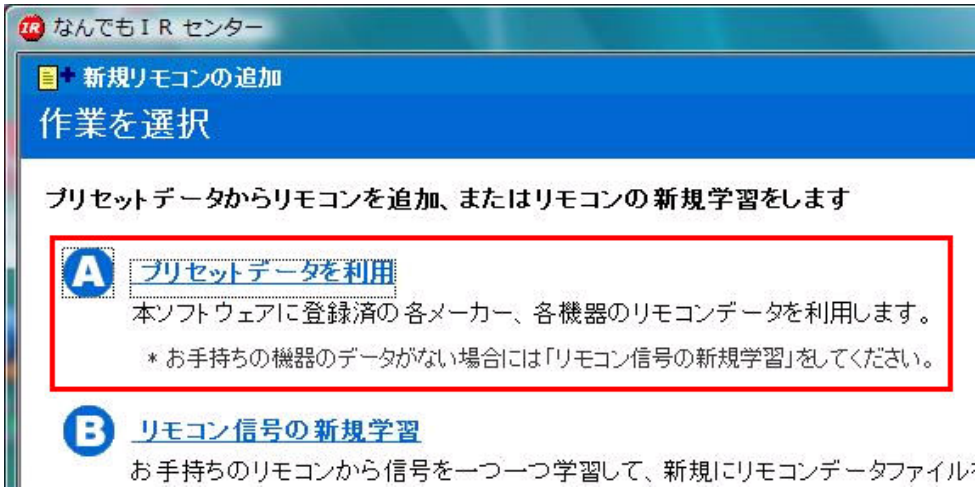
1. プリセットデータの利用

本ソフトウェアにあらかじめ登録されている各メーカー、各機器（計約 300 種）のプリセットデータを利用して新しいリモコンを追加します。
ボタン一つ一つを手作業で登録する必要がなく、簡単にリモコンを追加することができます。

リモコンリスト画面より「リモコンの追加」をクリックします。

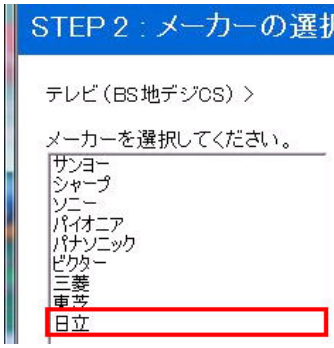


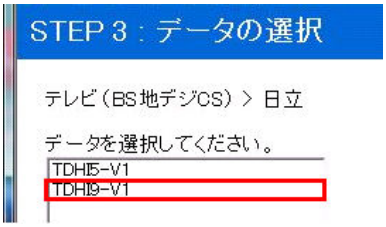
「プリセットデータを利用」をクリックし、機種の選択へ進みます。
プリセットデータのない機器の場合はページ25 「リモコン信号の新規学習」に従ってお手持ちの機器付属のリモコンよりデータの学習をしてください。



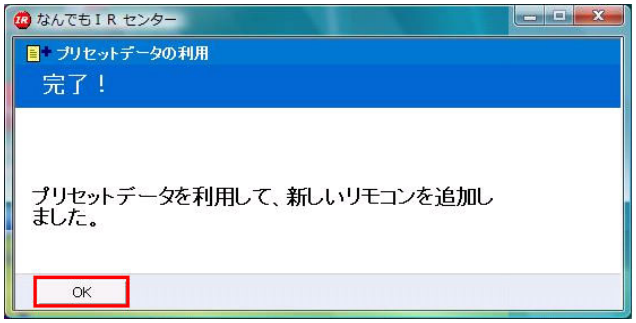
機種を選択すると標準のテンプレート（リモコンの図）が表示されます。
（ここでは映像機器、地上デジタルCSテレビを選択しました。）

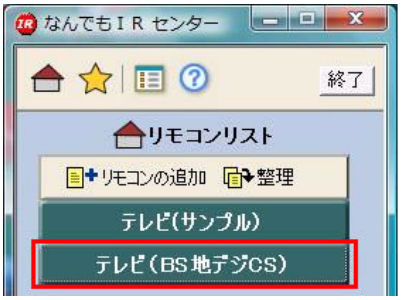
「次へ」をクリックするとメーカー選択の画面に進みます。 メーカーを選択し、「次へ」をクリックするとデータ（機種）選択の画面に進みます。





データ（機種）を選択し、「次へ」をクリックすればプリセットでの新規リモコン登録を完了です、「OK」をクリックすればリモコンリストに今登録したリモコンが表示されます。



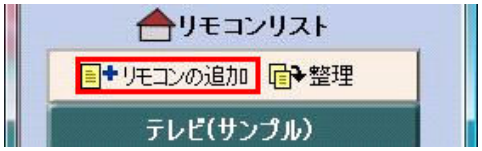


リモコンリストの「整理」より、「名前の変更」で新しく登録したリモコン名を変えたり、リスト上の並び順を変更することもできます

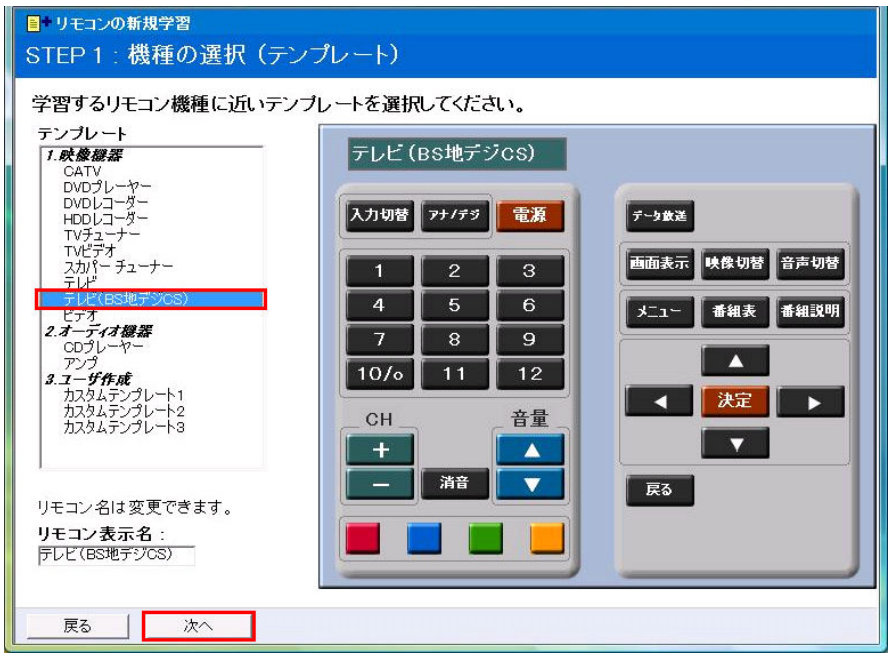
2. リモコン信号の新規学習（お手持ちのリモコンの信号を学習）

お手持ちのリモコンから、ボタン一つ一つの信号を順番に学習していくことで新しいリモコンを追加します。
なんでもIRセンターは、だれでも簡単に学習操作を行うことができます。

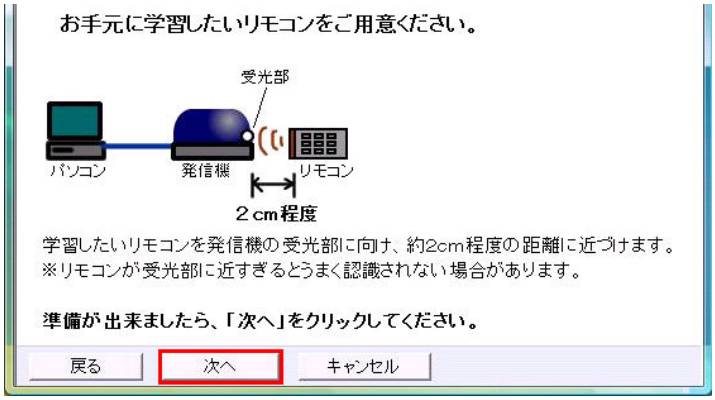
リモコンリスト画面より「リモコンの追加」をクリックします。
「リモコン信号の新規学習」をクリックし、機種（テンプレート）の選択へ進みます。



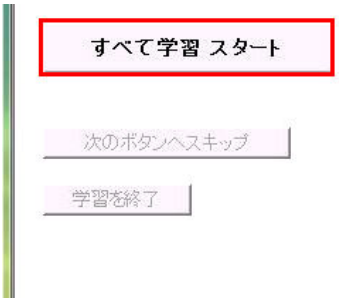
目的の機種が無い場合は、ご利用の機器に最も近いテンプレートの機種を選択します。
機種を選択すると標準のテンプレート（リモコンの図）が表示されます。



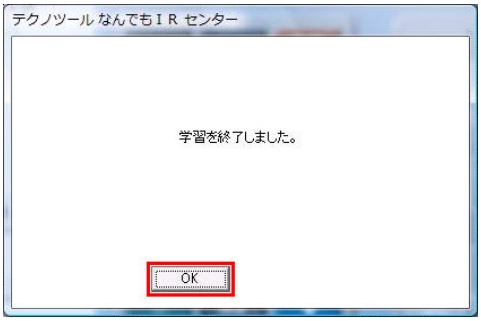
「次へ」をクリックし、お手持ちの機器付属のリモコンを用意して画面指示に従って学習の準備をしてください。 さらに「次へ」をクリックし信号の学習に進みます。

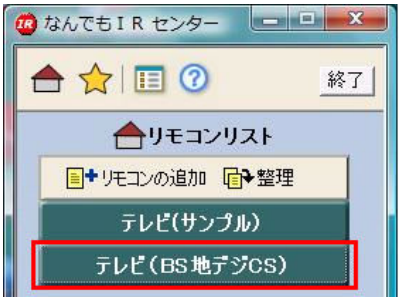


「すべて学習スタート」をクリックすると、テンプレート上にあるボタンを順に学習することができます。 画面指示にしたがってお手持ちのリモコンのボタンを順におしてください。



学習の済んだボタンは色が変わって、信号が登録されたことを表します、必要のないボタンは学習せずにスキップすることもできます。
最後に「学習終了」、「学習が完了しました。 OK」、「完了」をクリックします。



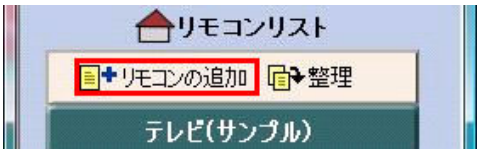


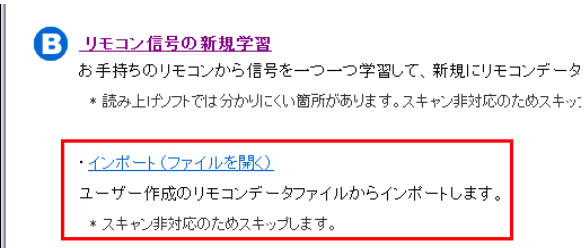
これでお手持ちのリモコンの登録が完了し、リモコンリストに追加されました。
リモコンリストの「整理」より、「名前の変更」で新しく登録したリモコン名を変えたり、リスト上の並び順を変更することもできます。

3. データのインポート（ファイルを開く）

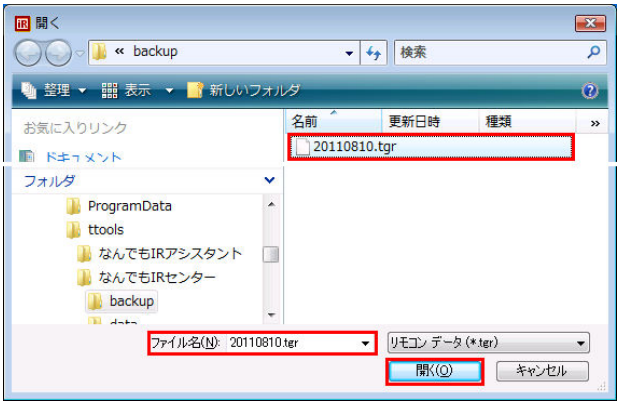
学習したデータはエクスポート（ファイルの保存）が出来ます。（ページ28）
登録されたリモコンごとのリモコンデータ（リモコン信号）、以前に学習したデータや、他のユーザーが学習したデータをエクスポートでファイル保存した場合、そのファイルをインポートで読み込むことでリモコンを追加することができます。

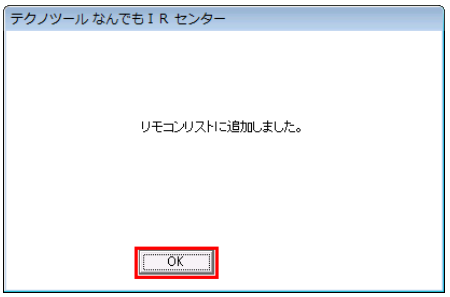
リモコンリスト画面より「リモコンの追加」をクリックします。
「インポート（ファイルを開く）」をクリックします。





「ファイルを開く」画面で、リモコンデータ（*.tgr)ファイルを選択して開きます。
「リモコンリストに追加しました」という表示で「OK」をクリックします。





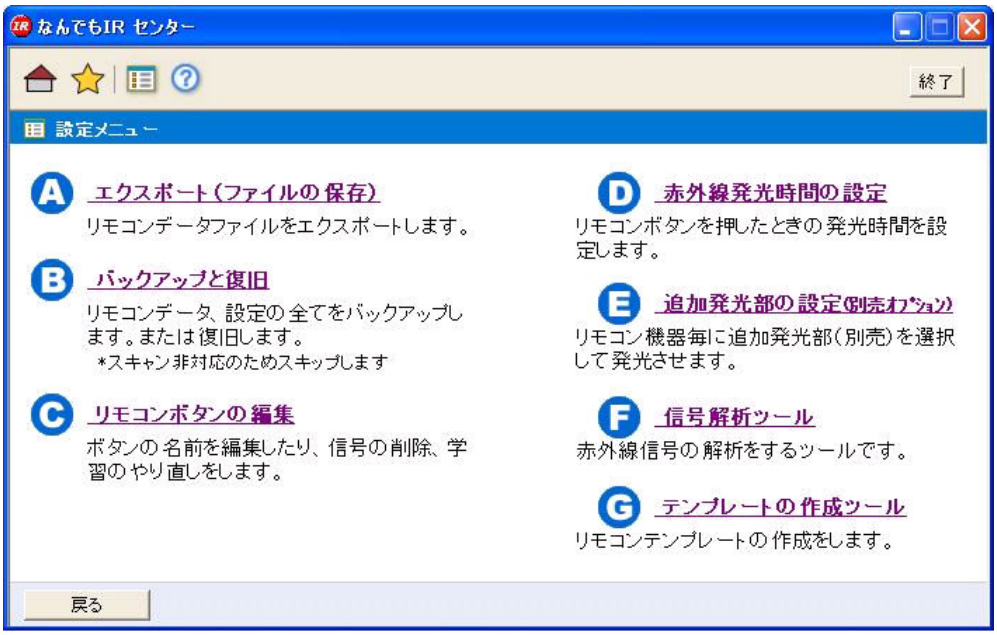
リモコンリスト画面に戻り、インポートしたファイルでリモコンが追加されているのを確認します。

リモコンリストの「整理」より、「名前の変更」で新しく登録したリモコン名を変えたり、リスト上の並び順を変更することもできます。

10. 各種設定

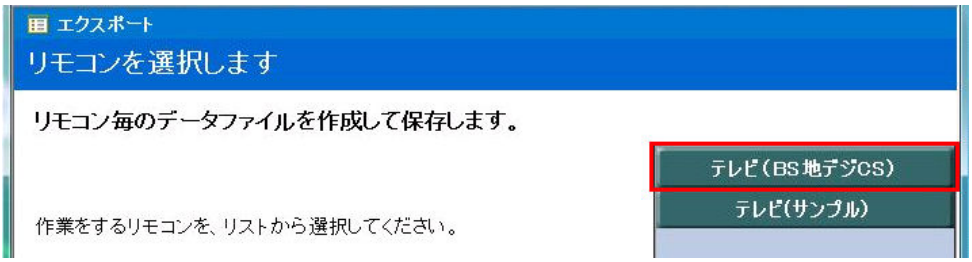
1. 設定メニュー

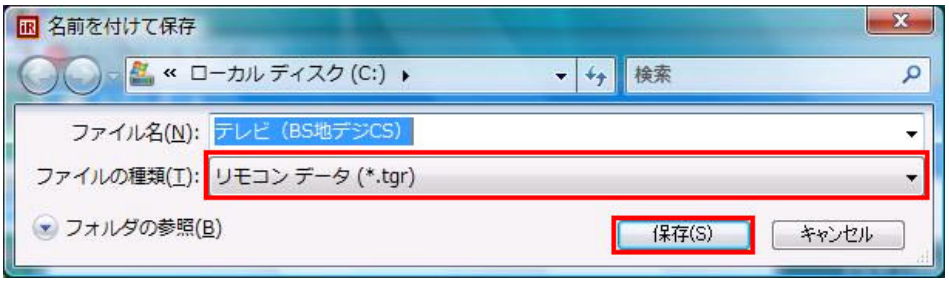
メニューバーの「各種設定」をクリック、設定メニューへ移行します。



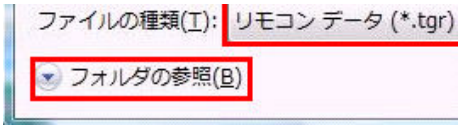
A. エクスポート（ファイルの保存）

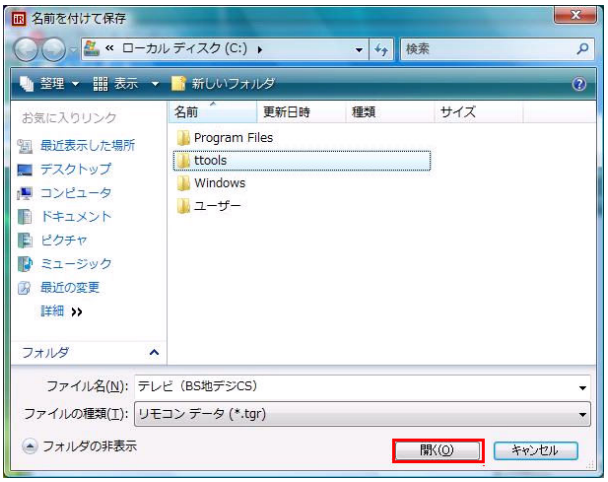
登録されたリモコンごとのリモコンデータ（リモコン信号）を ローカルフォルダーや各種記憶メディアに保存（エクスポート）できます。





※Vista の場合、保存時の画面が省略されて表示される場合があります。
「フォルダの参照」より、画面を展開させて保存先を指定します。

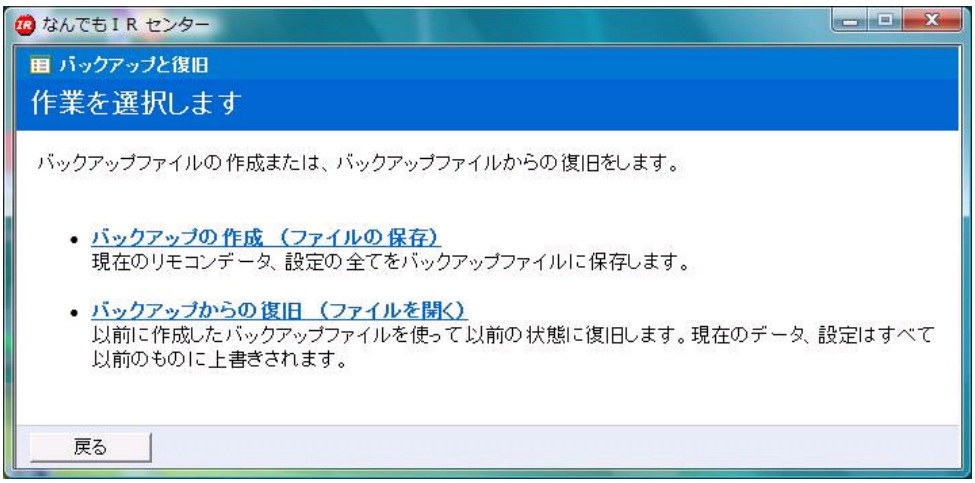




エクスポートで保存したファイルは、インポート（ファイルを開く）して、リモコンを追加することができます。
エクスポートを活用して、自分で学習したリモコンデータのファイルを他のユーザーに利用してもらう事もできます。

B. バックアップと復旧

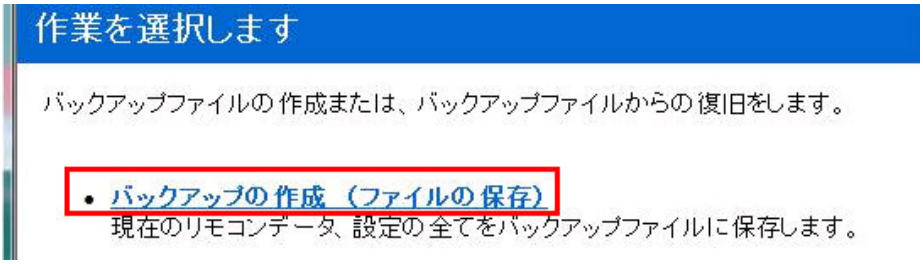
登録されたリモコンごとのリモコンデータと設定全てをバックアップファイルとして保存できます。



また、保存したバックアップファイルを使用してリモコンの復旧ができます。こ

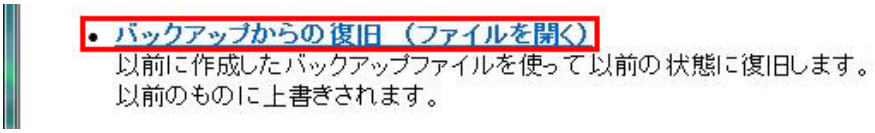
の場合リモコンデータ及び設定はすべて上書きされます。

保存（**バックアップの作成**を選択します）



※バックアップされるファイルは「.tga」とファイル名の後に付きます

復旧（**バックアップからの復旧**を選択します）

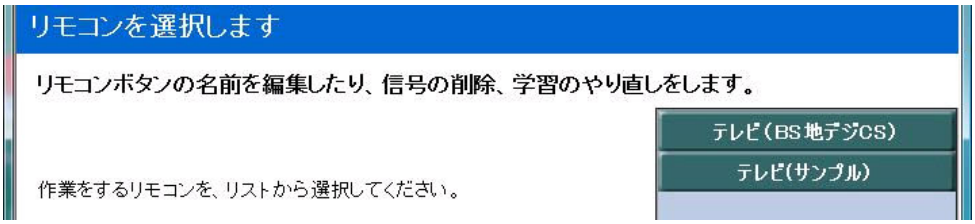


※バックアップ「保存」された「.tga」ファイルを選択してください。

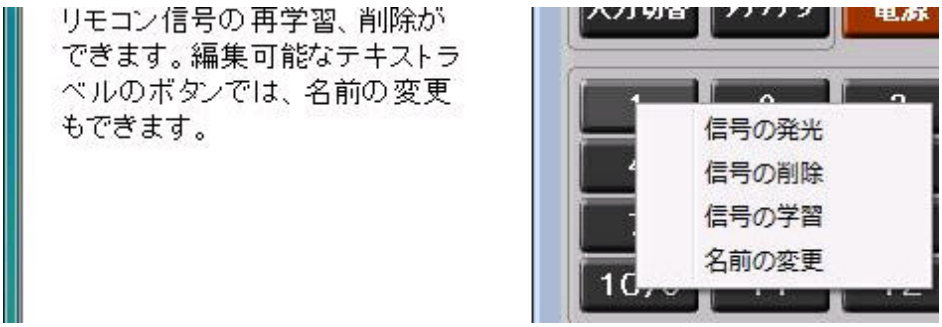
C. リモコンボタンの編集

登録されたリモコンのボタンごとにテキストの変更・削除・再学習などができます。

「リモコンボタンの編集」をクリック、編集したいリモコンを選びます。



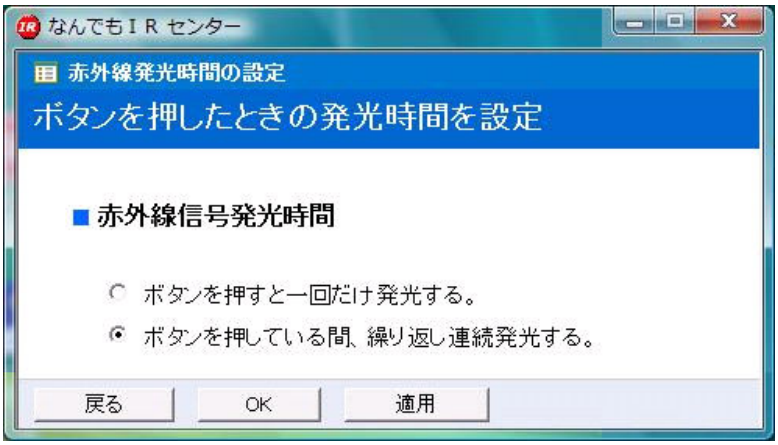
編集したいボタンをマウスオーバー（ボタンの上で）、クリックするとサブメニューが表示されます。



「名前の変更」をクリックすればテキストボックスが表示されるので新しい名前を入力してください。

D. 赤外線発光時間の設定

リモコンボタンを押したときの発光時間を設定します。一回だけ発光と連続発光が選択できます。



ボタンを押すと一回だけ発光する

押している時間に関係なく、一回ボタンを押すと一回だけリモコン信号を発光します。

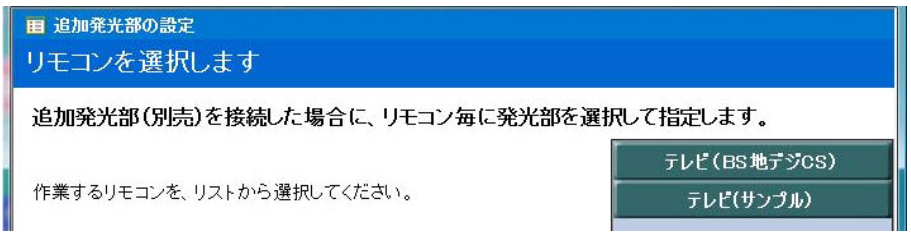
ボタンを押している間、繰り返し連続発光する

押している間、繰り返し連続して何度もリモコン信号を発光しつづけます。

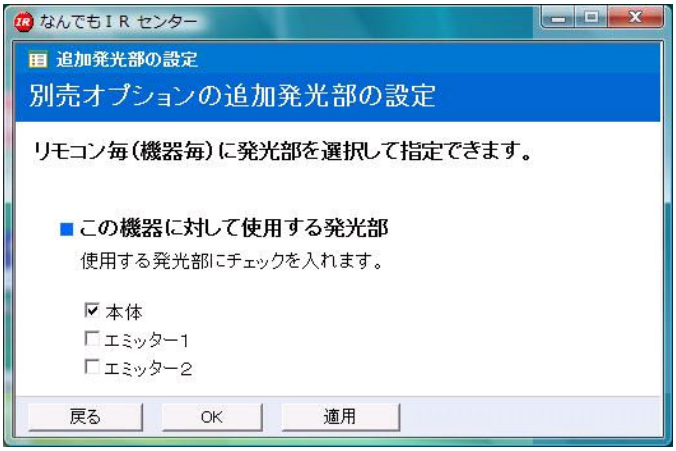
E. 発光部の選択（別売オプション）

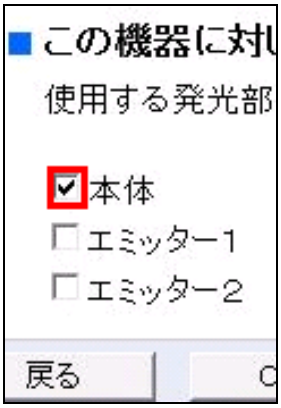
本機は本体発光の他に別売のエミッター（外部発光部）を2個まで接続することができ、登録されたリモコンごとに発光部を選ぶことができます。本体発光で信号の届かないキャビネット内に収められた機器や他の機器が誤動作を起こす時などにご利用ください。

「発光部の選択」をクリック、発光部を選択したいリモコンを選びます。



発光部を選んでチェックマークを入れ、「OK」をクリックします。

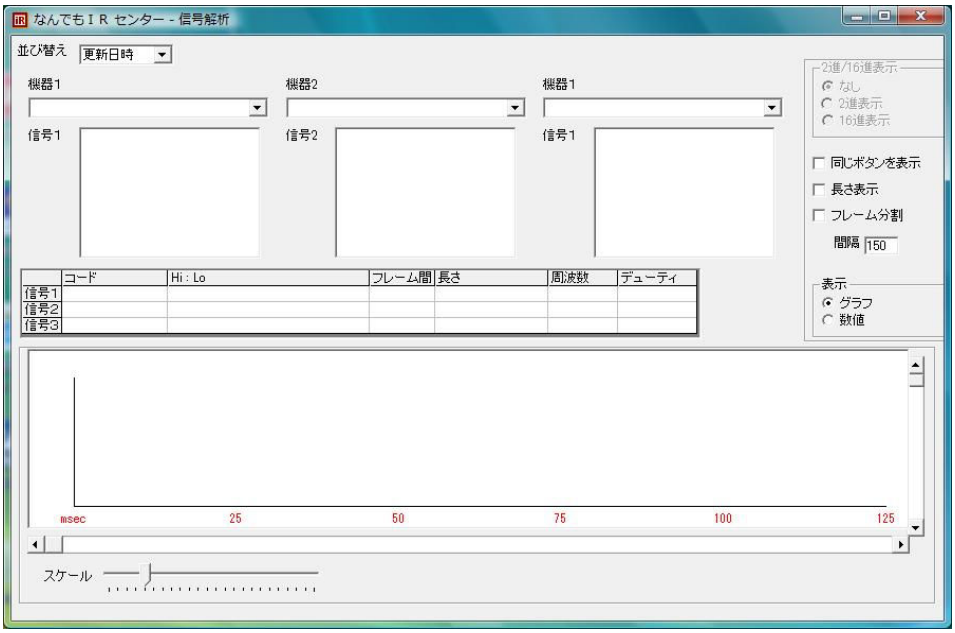




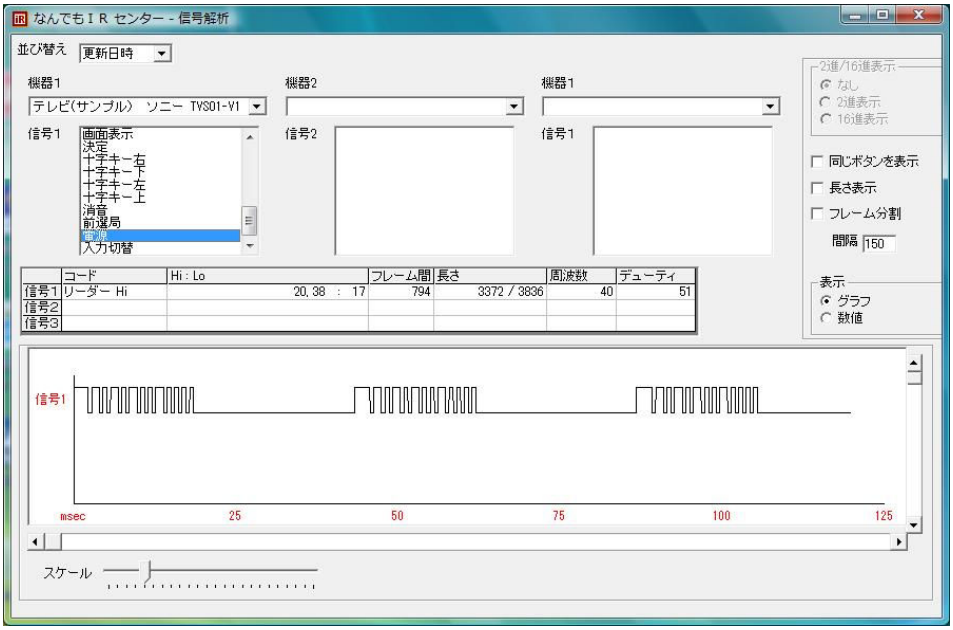
F.　信号解析ツール

本機の学習機能を利用して各種赤外線リモコンの波形を解析することができます。

「信号解析ツール」をクリックし、信号解析画面を表示させます。



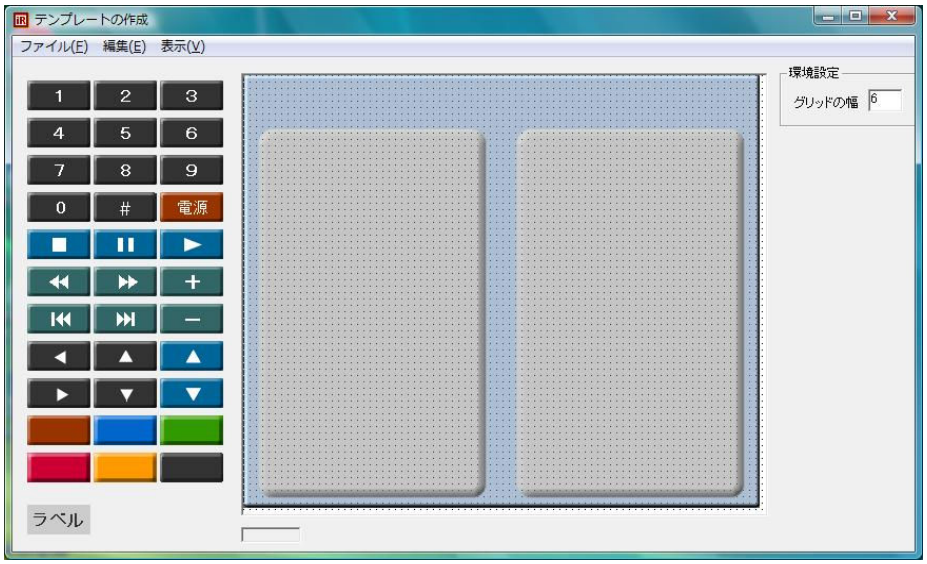
「機器」「信号」のダイアログボックスより、登録されたリモコンの各ボタンを選択することにより、その信号の波形をご覧になれます。



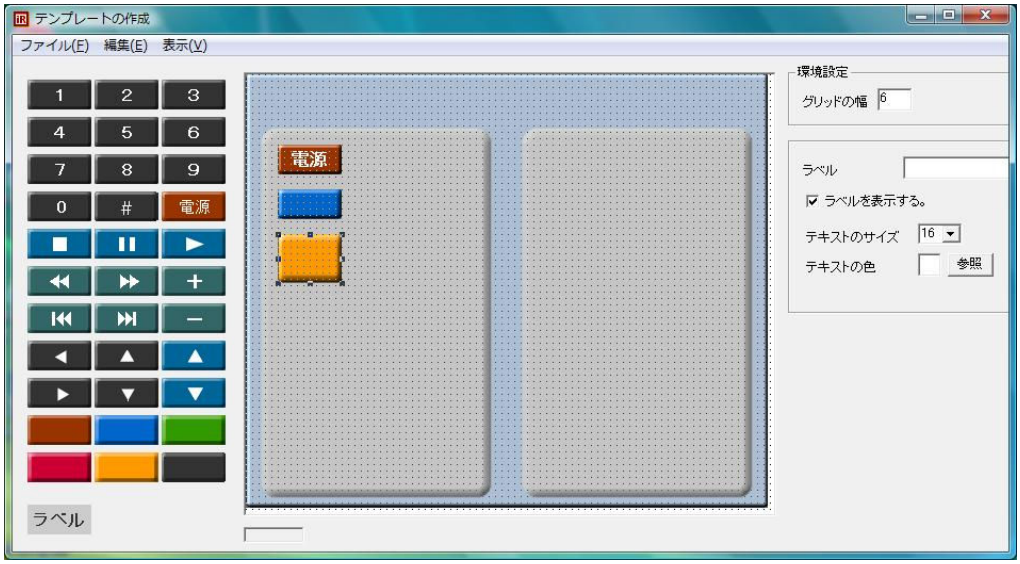
G. テンプレートの作成ツール

標準で用意されたテンプレート（リモコンの図）に当てはまらない特殊な機器やご自分の利用目的に合ったカスタムリモコンをお作りになりたい時にはこの「テンプレートの作成ツール」で自由にテンプレートを作ることができます。作成したテンプレートは「新規学習」の「機種（テンプレート）選択」の時「ユーザ作成」のテンプレートとして表示され新規学習時に表示され新規学習時に選択することができます。

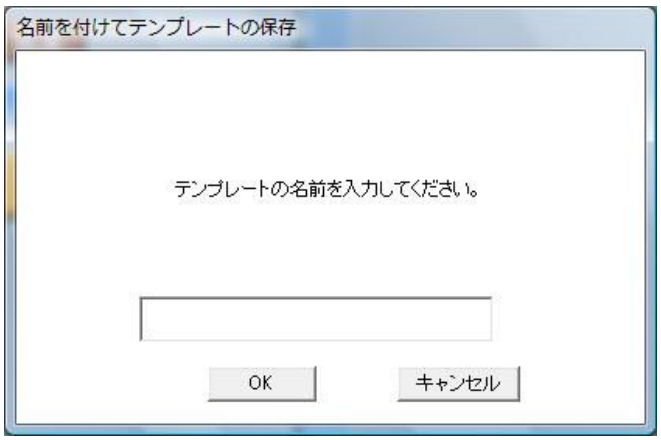
「テンプレートの作成ツール」をクリックし、作成画面を表示させます。



画面左側にある各種ボタンを右側灰色のリモコン部にドラッグ&ドロップで配置します。 配置されたボタンをクリックすれば、ボタン上のテキストや色の編集が行え、同時にボタンのサイズも変更できます。左下の「ラベル」を同様にドラッグ&ドロップで配置すればリモコン上にテキストが入力できます。



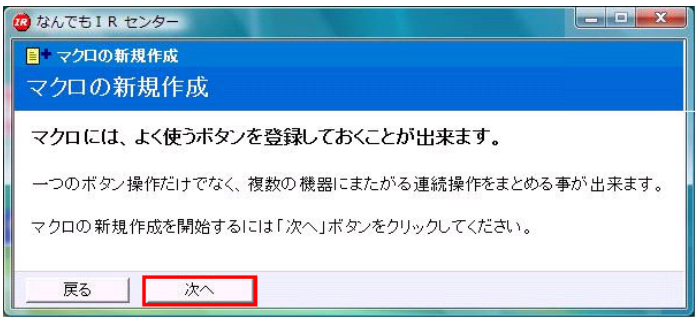
作成したテンプレートは「ファイル(F)」「名前をつけて保存」で保存します。



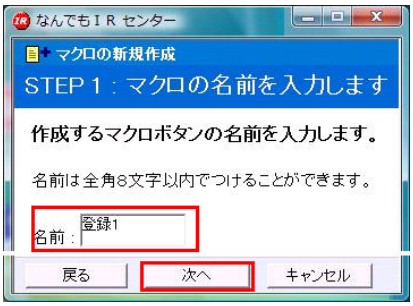
11. マクロ機能

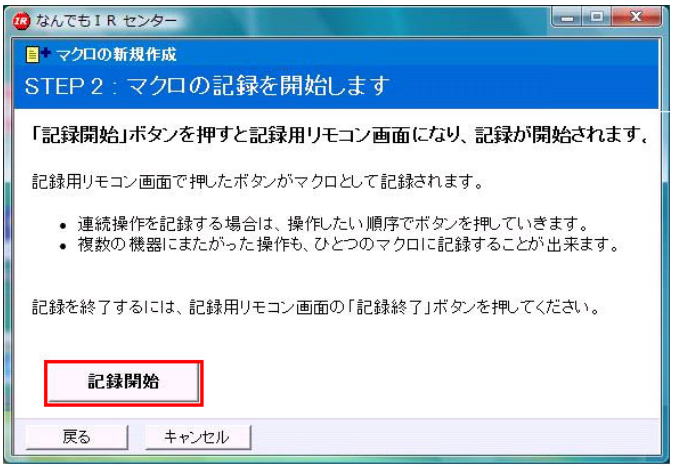
1. **マクロ**には、よく使うボタンを登録して連続操作することができます。
この場合複数のリモコン（操作対象機器）のボタンを一つのマクロに
登録することができます。
登録済みのマクロはリスト上の登録名をクリックすることで、登録されたボタンを
発光し、各機器を連続操作することができます。

メニューバーの「マクロ」、「マクロの追加」をクリックします。

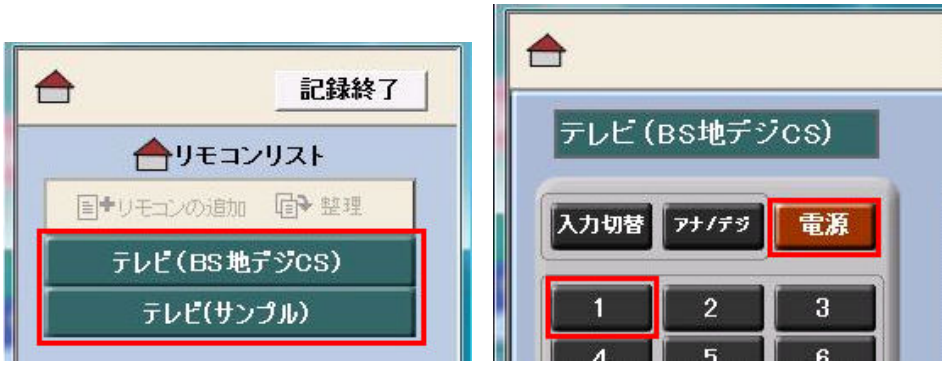


「次へ」をクリックして、このマクロの登録名を記入します。
さらに「次へ」をクリックして、「記録開始」の注意書きを確認して記録を開始します。

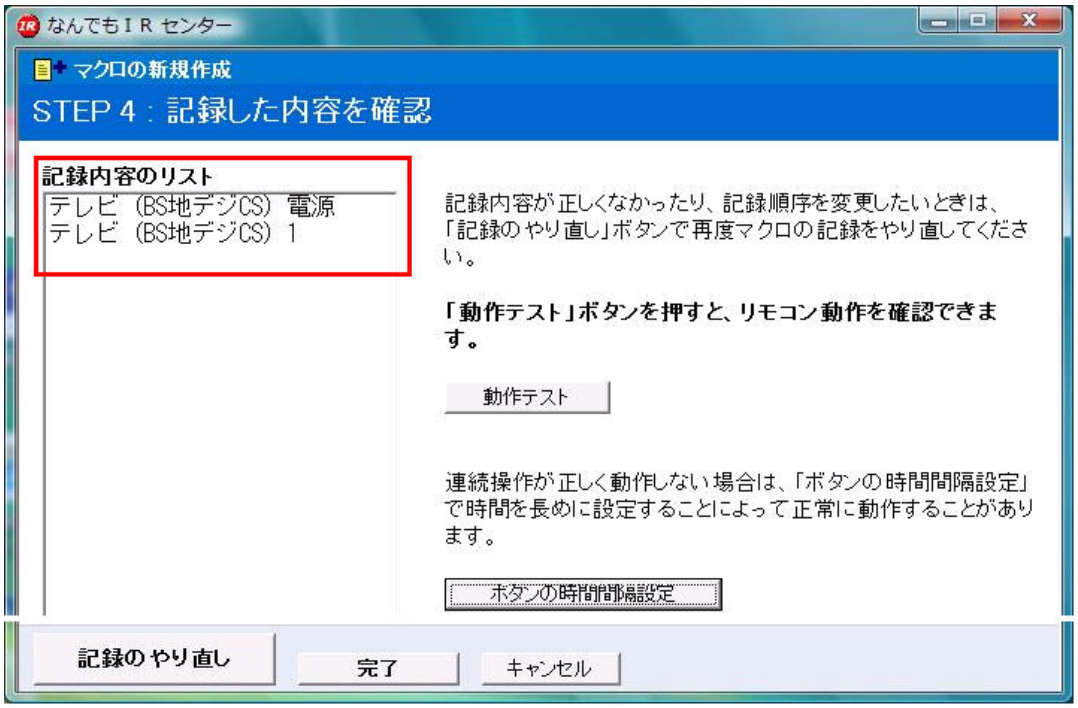




「記録開始」をクリックするとリモコンリストが表示されるので、
登録したいボタンのあるリモコンを選択します。

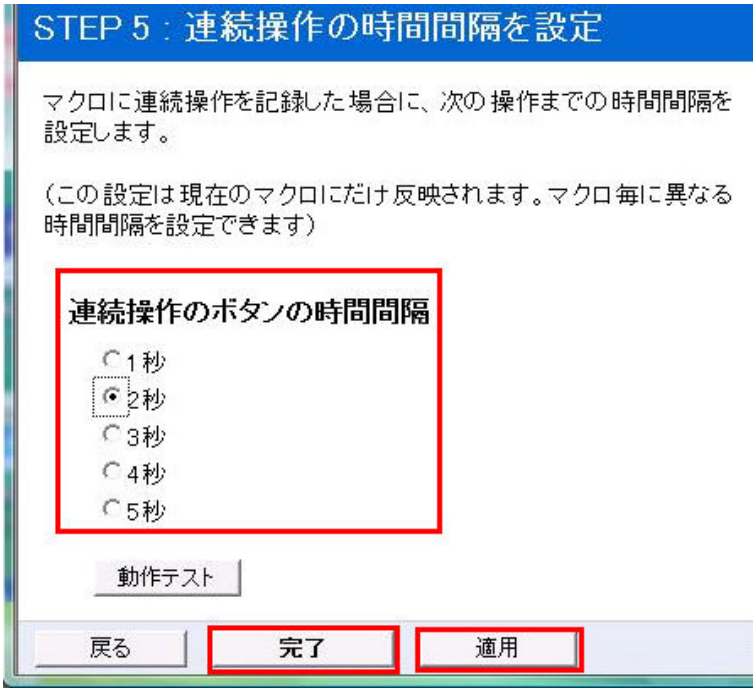


登録したいボタンを続けてクリックして行きます、ここでは「電源」「チャンネル1」をクリックしました。
別のリモコンのボタンを続けて登録したい場合はメニューバー「リモコンリスト」をクリックし、リモコンリストより次のリモコンを選択します。
「記録終了」をクリックすれば、今登録したボタンを確認することができます。

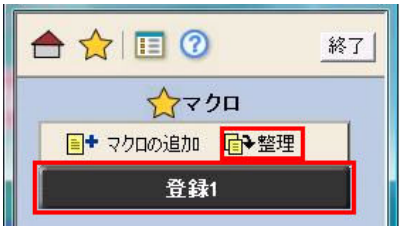


間違えて登録した場合は「記録のやり直し」をクリックすれば最初からやり直すことができます。
「動作テスト」をクリックすると、今登録したボタンを順に発光し、各機器の動作確認をすることができます。

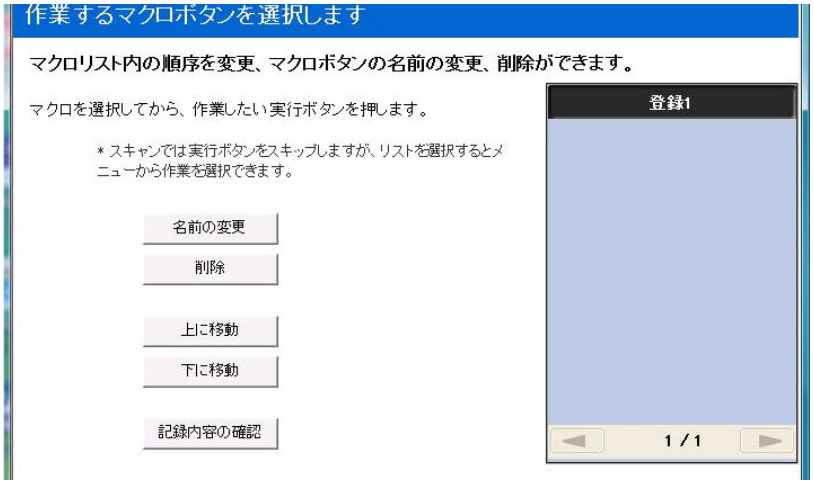
標準では連続発光を行う時の間隔は2秒となっておりますが、上手く動作しない場合は「ボタンの時間間隔設定」をクリックして、間隔を変えて動作確認をしてください。



「適用」、「完了」で登録を終了し、「OK」でマクロのリスト画面へ戻ります。



マクロの「整理」で登録されたマクロの名前の変更、削除、リスト内での並び順の変更、記録内容の確認をすることができます。



12. アプリ・ドライバの削除

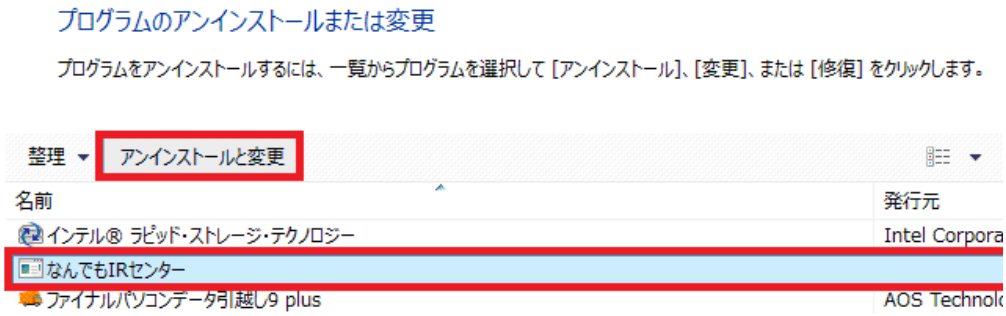
なんでもIRのアプリケーション「なんでもIRセンター」および、USBドライバを削除する場合、次の手順に従ってください。

1. アプリケーションの削除

- **アプリケーションを終了します。(※必ず終了させてください。)**
  「なんでもIRセンター」のメニューから「終了」を選んでください。
- **アプリケーションを削除します。**
  スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「ソフトウェアのアンインストール」選びます。

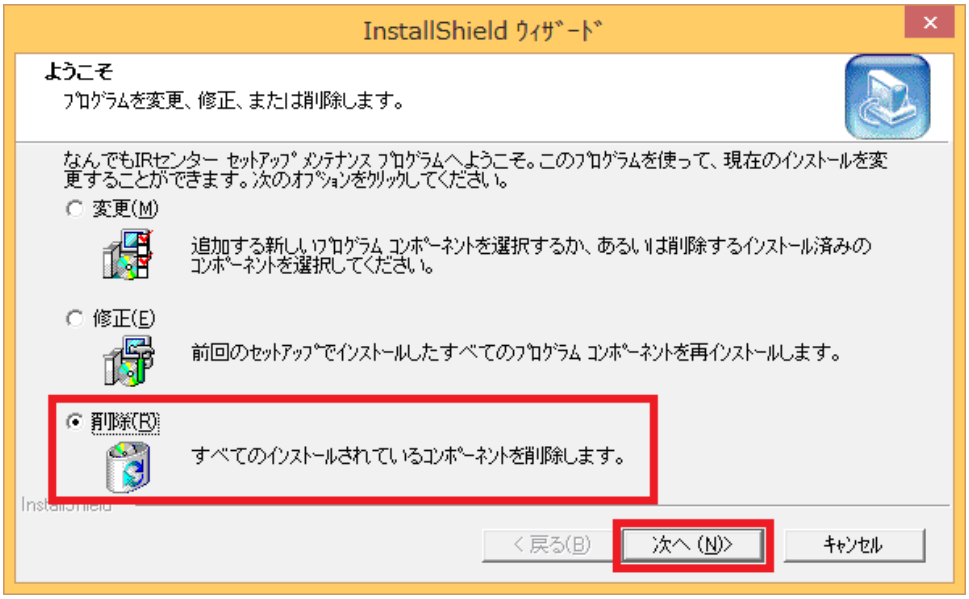
例)Windows8

「プログラムのアンインストール」の一覧から**「なんでもIRセンター」**を選び、「アンインストールと変更」を押します。
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「続行」を押します。



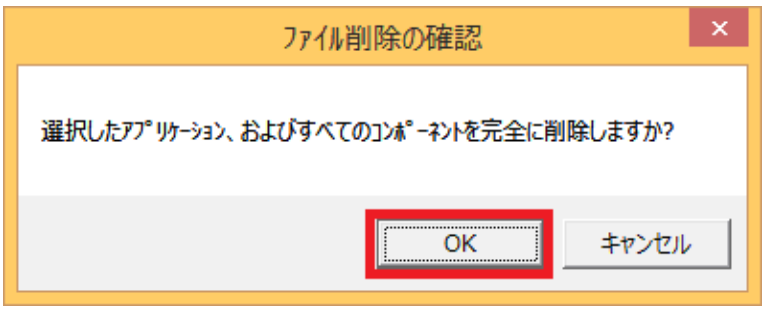
例)Windows8

確認の表示が出ますので、「削除(R)　すべてのインストールされているコンポーネットを削除します」を選んで、「次へ(N)」をクリックして進めます。

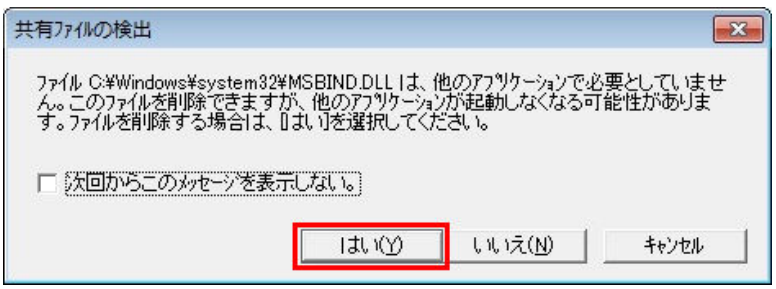


例)Windows8

削除確認の画面が表示されますので「OK」をクリックします。

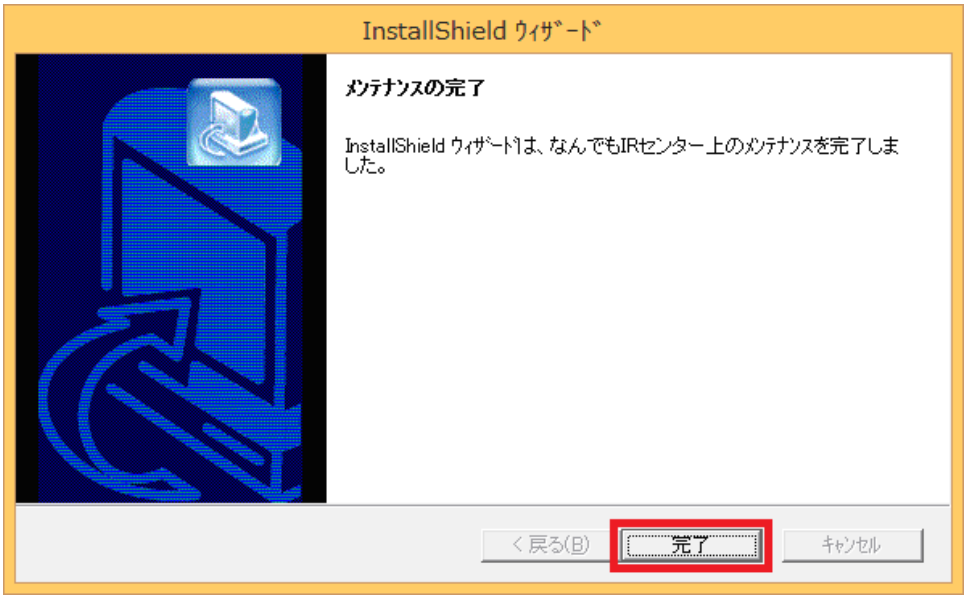


共有ファイルの検出画面が表示され、対象ファイルを削除するか聞いてきますが、「はい(Y)」をクリックして閉じます。(複数のファイルに関して同じような画面が続けて表示される場合があります。)



例)Windows7

削除が完了します、「OK」を押してください。



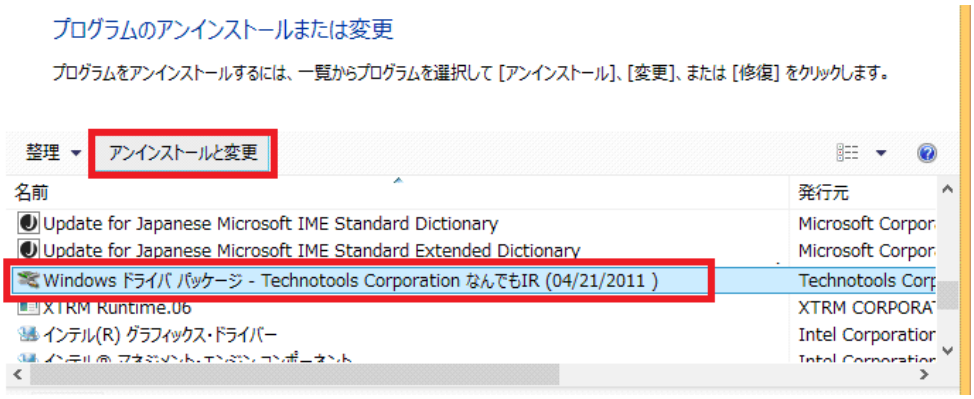
例)Windows8
なんでも IR センターの削除が完了します。

2. USB ドライバの削除

- **USB ドライバを削除します。**
  スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「ソフトウェアのアンインストール」選びます。

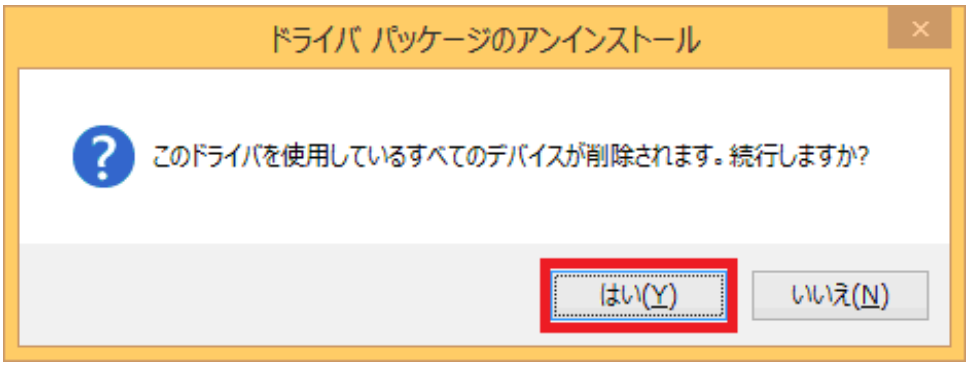
例)Windows8

「プログラムのアンインストール」の一覧から「**Windows ドライバパッケージ – Technotools Corporation なんでも IR (04/21/2011)**」を選び、「アンインストールと変更」をクリックし、削除を行ってください。



例)Windows8

ドライバパッケージのアンインストール画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックし削除を完了します。



例)Windows8

※アプリケーションおよび USB ドライバを削除すると、「なんでも IR」本機は使用できなくなります。

13. トラブルシューティング（うまく動作しない時）

本機がうまく動作しない時は以下の項目をチェックしてください。

1,「電池残量が少なくなっています」の警告がでる。

30分程度パソコンを起動したまま充電してから「OK」ボタンを押して下さい。
通常1時間～4時間で満充電になり充電状況表示LEDが赤より緑色に変わります。 長時間充電しても充電状況表示LEDが赤のままの場合、電池の劣化によって正しく充電されていないことが考えられます、新しい電池と交換してください。 交換用電池につきましては販売店または弊社ユーザサポート係までお問い合わせください。

2. 学習した赤外線データで操作対象機器が操作できない。

上手く学習できていない可能性があります。再学習してみてください。
学習する際は赤外線受光部から2～3cm離して学習元リモコンをセットして下さい。 また蛍光灯の近くでの学習は避けてください。
信号解析ツールで学習したリモコンデータの波形を見ることができます。
旨く学習できたデータとの比較ができますので参考にして下さい。

3. USB を抜き差ししたら動作しなくなった

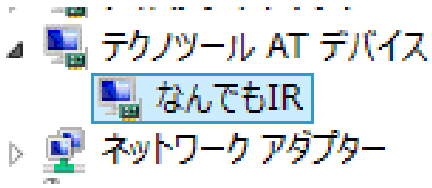
本機はプラグ＆プレイに対応していますが、短い間隔で抜き差しをおこなうとまれに動作しないことがあります。ゆっくりと抜いてから挿しなおすと復帰します。
それでもうまく動かない時はパソコンを再起動してください。

・ドライバの状態確認

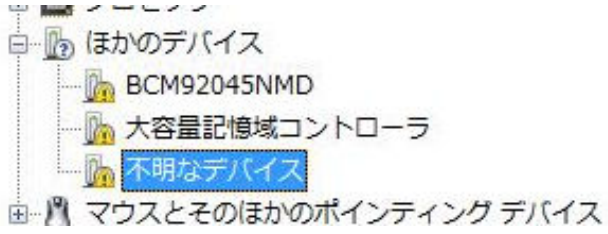
スタートメニューから、コントロールパネル（設定＞コントロールパネル）内の「システム」を開きます、ハードウェアのタグ（耳の部分）を選択して『デバイスマネージャー』をクリックします。
Vista の場合は、コントロールパネルより、「システムとメンテナンス」を開き、「デバイスマネージャー」項目を選びます。7 および 8 の場合は、コントロールパネルから「システムとセキュリティ」を開き、「システム」項目内の「デバイスマネージャー」を選びます。

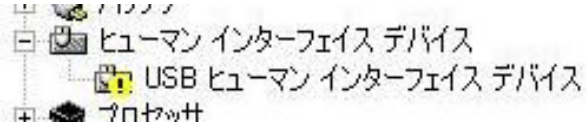
なんでも IR の USB ドライバが、正常にインストールされている場合、デバイスマネージャーの一覧項目にテクノツール AT デバイス」と表示され、その下位に

『なんでも IR』と表示されます。
※なんでも IR 本体とパソコンを USB ケーブルで接続させた状態で確認します。



正常にインストールされていない場合は、「テクノツール AT デバイス」の下位に「！」マークとともに、「USB Device」といった表示や、「テクノツール AT デバイス」の表示が無く、下記の画像表示がされ、その下位に「！」マークとともに「USB Device」や「USB ヒューマンインターフェースデバイス」、「不明なデバイス」などと表示されています。

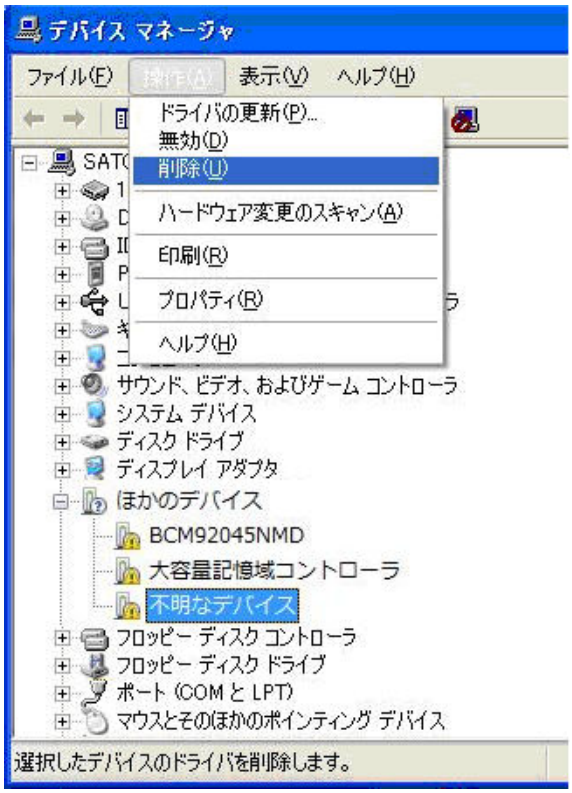




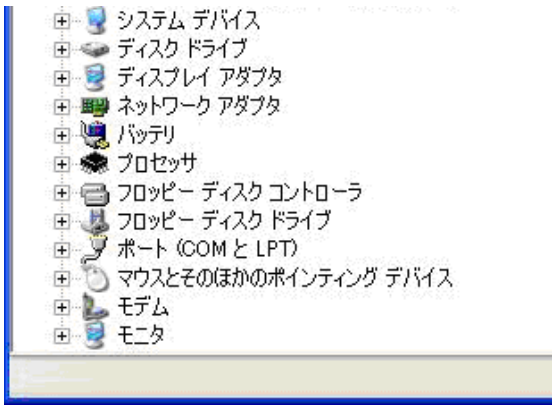
このような場合は、「なんでも IR」本機をパソコンに接続しても利用できない状態となっていますので、現在認識されているドライバを削除し、正式なドライバの再導入が必要となります。

・ドライバの削除
本紙「12. アプリ・ドライバの削除　2. USB ドライバの削除」のご案内に従って作業を進めてください。それでも解消されない場合は、以下をご確認ください。
「！」マークの表示された項目をマウスでクリックして選択します。画面上部のメニューの編集より、「削除」を選択し、表示される案内に従い削除します。

（例）ドライバを削除する方法



削除の確認画面が出ますので、「OK」を押します。
問題のドライバ項目が表示されなくなったことを確認します。



・ドライバの再導入

「なんでも IR」本機とパソコンの接続を解除します（USB を抜きます）。本機の USB をもう一度差し込み直します。すると、「新しいハードウェアが見つかりました」と画面が表示されますので、本紙「7. なんでも IR(本機)を接続する」の案内にしたがって、作業を進めてください。
これで、ドライバの再導入が可能となります。

4. パソコンに接続していても接続されていませんと下記エラーが表示される。

USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 それでもエラーが表示される場合、次のことが考えられます。

USB ハブを経由して接続した場合、パソコンによっては十分な電流が供給されず本機が認識されないことがあります。 この場合は USB ハブを使用せずに直接パソコンの USB ポートに接続してください。

電池が充電されていない。 本機はUSBより電気の供給を受けていますが、電池の残量が空の場合本機は認識されません、「電池残量が少なくなっています」の警告がでた時と同様に電池の充電を行ってください。

5. 温度警告のエラーが表示される。

本機は内部に温度センサーを内蔵しており、内部温度が 50℃以上になると温度警告のエラーが表示されます。 設置場所等による外因がない場合、電池の過充電による発熱が考えられます。 直ちに使用を中止し、販売店または弊社ユーザサポート係までお問い合わせください。

14. 保証規定

1) 保証期間はご購入日から1年間です。
2) 保証期間中に、ユーザーズマニュアルにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定の記載内容に基づき無償で修理します。
3) 修理をご希望の際は、販売店または弊社ユーザサポートまでご連絡ください。
4) 修理品をお送りいただくときは、送料をご負担ください。
5) 保証期間内でも、以下の場合の修理は有償となります。
   ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および破損。
   ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下等、お取り扱いが不適切なために生じた故障および破損。
   ・改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障および破損。
   ・消耗品等の交換、自然磨耗部品および付属品の交換。
   ・バージョンアップ。
6) 本製品に同包の専用アプリケーション以外をご使用した場合に生じた本製品故障および動作不良につきまして当社はその責に任じません。
7) 本製品故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきまして当社はその責に任じません。

15. 使用許諾条件

ドライバソフトウェアのご使用の前に必ずお読みください。

本使用許諾契約書(以下「本契約書」とする) は、本ソフトウェア・プログラム（以下、本ソフトウェアとする）に関してお客様 (個人・法人を問いません)とテクノツール株式会社(以下「弊社」とする) との間に締結される法的な契約書です。
本ソフトウェアは、お客様が本契約書に同意していただいた場合にのみ、ご使用していただけます。
本ソフトウェアをインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとしますので、事前に下記の契約条項を十分にお読みください。

この契約に関してご不明な点等ございましたら弊社にご連絡頂くようお願い申しあげます。

テクノツール株式会社
代表取締役　島田　努

ソフトウェア使用許諾条項

テクノツール株式会社（以下「甲」とする）が作成したソフトウェアのご使用にあたり、以下の条項にご同意いただきます。

1. 本契約は、本ソフトウェアをインストール、複製、または使用することによって発効します。

2. 本ソフトウェア(本ソフトウェアおよび必要となるデータベース、それに関連した媒体、マニュアルなどの印刷物、オンラインまたは電子文書等)の著作権は、甲が有するものであり、日本国著作権法及び国際条約により保護されていますので、お客様は、ソフトウェアを他の著作権保護対象物と同じように取り扱わなければなりません。

3. お客様は、1ライセンスにつき、本ソフトウェアのコピー1 部を 1 台のコンピュータ上において使用することができます。

(a) 「使用する」とは、コンピュータの RAM 等の一時メモリに読み出すこと、及びコンピュータのハードディスク等の固定メモリに組み込むことを意味します。

(b) 複数のコンピュータ上において本ソフトウェアを使用する場合には、同時に使用しない場合であっても、使用するコンピュータの数と同じライセンス数の使用許諾を受けなければなりません。
(c) お客様は、バックアップもしくは保存用の目的に限って本ソフトウェアの使用に必要となるデータベースをコピーすることができます。

4. お客様は、本ソフトウェアに付属するマニュアル及びその他の印刷物を複製できません。

5. お客様は、本ソフトウェアを第三者にレンタル又はリースすることはできません。又、第三者に使用させることもできません。

6. お客様は、本ソフトウェアについてリバース・エンジニア、逆コンパイル又は逆アセンブルすることはできません。

7. 本ソフトウェアの使用において、次の範囲において甲は責任を負うものではありません。

(a) 本ソフトウェアの不具合が火災、地震、第三者による行為その他の事故、お客様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用によりおいて生じた場合には、甲は保証の責任を負いません。

(b) 甲は、本ソフトウェア、付属のマニュアル及び印刷物に関して、商品性及び特定の目的に対する適合性を含むその他の保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

(C) いかなる場合においても、甲は本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。たとえ甲がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

16. 連絡先

お問い合わせ、修理につきましては販売店または弊社ユーザサポート係までお問い合わせください。

テクノツール株式会社 ユーザサポート係
〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2106-5 マスヤビル4F
電話:042(370)6379 FAX:042(370)6378
E-MAIL support@ttools.co.jp
Web サイト http://www.ttools.co.jp
サポート受付時間:祝祭日を除く月曜から金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

本製品の仕様

製品名	
なんでもIR（TIRRA-61）	
本体型番	TIRRA-A01
PC インターフェース	USB 1.1 & 2.0 規格対応
インターフェース	USB Mini-B
消費電流	最大 500 mA (5V)
動作温度範囲	温度 0℃～40℃ 湿度 20～80% （ただし結露しないこと）
寸法	90(W)×90(D)×53(H)mm
質量	約 230 g
導入用 CD	TIRRA-A01-F7(WinVist,7、8、8.1 用)

- 本製品および本マニュアルはテクノツール株式会社の著作物です。したがって、本製品、本マニュアルの一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 本製品の仕様、本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。
- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- Microsoft®、Windows® は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- その他一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。